

■ ETIC.の紹介

- ・ 団体名称：特定非営利活動法人工ティック
: Entrepreneurial Training for Innovative Communities
- ・ 設立：1993年（法人化：2000年3月）
- ・ 理事：宮城 治男 / 代表理事 *常勤
石川 治江 / NPO法人ケア・センターやわらぎ 代表理事
佐藤 真久 / 東京都市大学大学院 環境情報学研究科 教授
鈴木 敦子 / 事務局長 *常勤
孫 泰蔵 / Mistletoe株式会社 代表取締役社長兼CEO
松本 大 / マネックスグループ株式会社 代表執行役社長CEO
山内 幸治 / 事業統括ディレクター *常勤
- ・ 監事：樋口 哲郎 / 樋口公認会計士事務所 代表
- ・ スタッフ：92名（うち専従46名）※2018年5月31日現在
- ・ 年間予算：約6.3億円（2017年度*決算）



日本に挑戦者を増やそう！

約20年間で8,000名以上の若者たちと「社会をつくる」現場に挑む機会で協働してきました。



2016年～

「ローカルベンチャー」の創出推進
11自治体と連携して
地域起業家の輩出支援

2011年～

④東北復興支援

240名の右腕人材を派遣
約60%が地域に定着
12%が右腕→起業



2004年～

③地域の起業力を高める取り組み
全国 70 地域、2500 社の中小企業、
100 大学・5000 人の若者

1993年～

学生団体
年間 50 回のセミナー



DeNA 楽天 6 TECHIE
CyberAgent
GaiaX
mixi
NetAge

1997年～

①次世代リーダー育成
日本初の長期実践型インターン

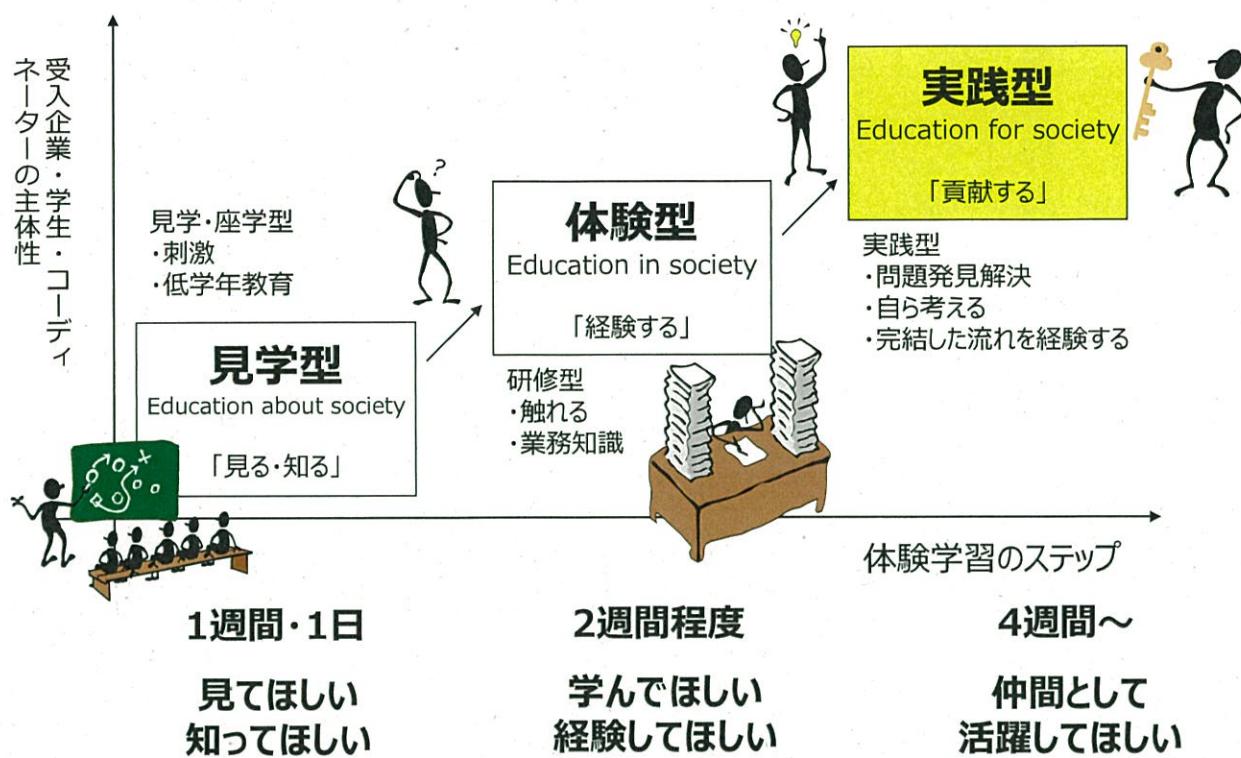
2800名の学生が参加
154名が実際に起業

2002年～

②社会起業・創業支援
400名以上の社会起業家を輩出
社会起業塾・東海若手起業塾・AMEXサービスアカデミー等
事業継続率90%



文科省・政府も、2%→50%の学生のインターン実施を推進。
「体験型」「実践型」に分類。80%が2週間以内。70%が1か月以上。



■実践型インターンシップ

**経営者が
本当はやってみたい、試してみたいけど、**

どうしても手が付けられない

**将来の会社の新たな方向性に繋がる
本気のプロジェクトを**

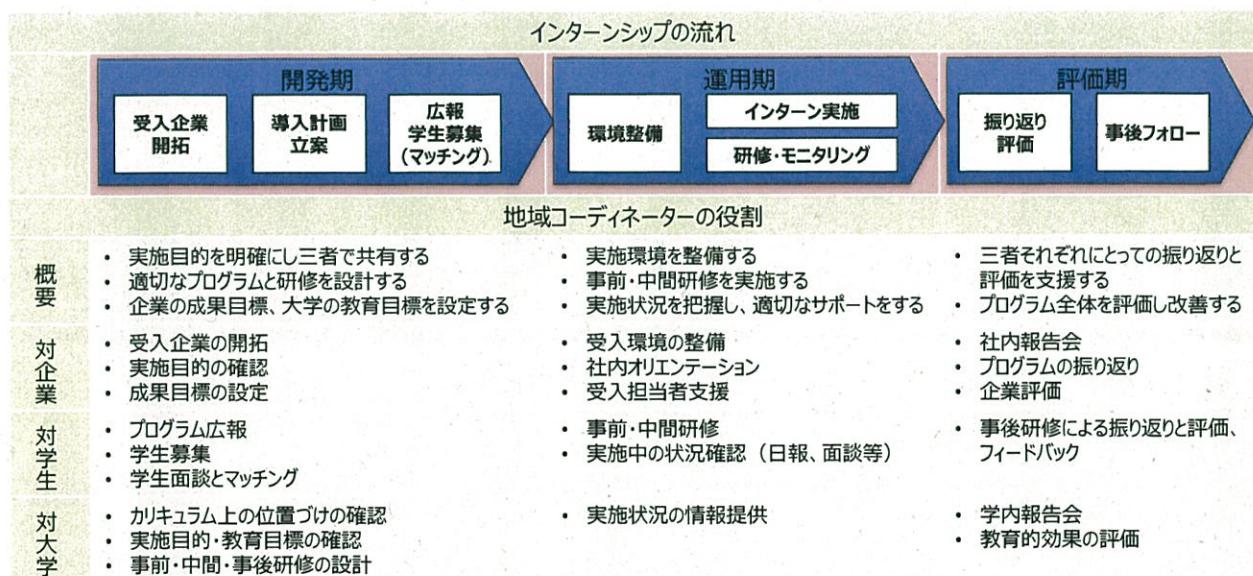
若者と一緒に一定期間、試してみる。

地域で新たな「仕事」を創出する「右腕」型人材の発掘・育成・活用の仕組みを実現し、挑戦の生態系のハブとなる「まちの人事部」とは？



参考：中間支援組織（地域コーディネーター、地域コーディネート機関）の役割

中間支援組織（地域コーディネーター、地域コーディネート機関）の役割は、インターンシップに関する企業、学生、大学の三者のニーズをすりあわせ、インターンシップを実施するための関係性を構築し、インターンシッププログラムを開発・運用・評価すること。そのために、企業、学生、大学のそれぞれに対する複合的なコーディネート能力が必要とされる。



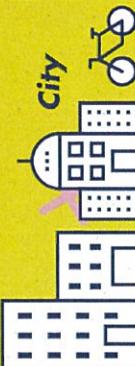
これらの役割を果たすために、中間支援組織（地域コーディネーター、地域コーディネート機関）には複合的なコーディネート能力が必要とされる。ただし、すべての役割を一人で負う必要はなく、プログラムの全体設計の中で役割分担をすることも考えられる。

挑戦のフィールドは
地域にある



in Spring 2019

地域が舞台。実践型インターンシップ・プログラム!



事例紹介 地域ベンチャー留学

● 地域ベンチャー留学の概要

© 2018 ETIC. All rights reserved.

都市部の大学生が春休み・夏休み限定で4-6週間、地域に住み込み、地域企業の経営者と二人三脚で新規プロジェクトに本気で挑戦。

地域ベンチャー留学

実施時期	毎年春休み（2-3月）・夏休み（8-9月）のうち4-6週間程度
対象＆定員	学部・学年不問。既卒者・高校生もやる気が高ければ、参加可。年間で120社150名程度募集。
インターン先	地域中小企業・NPOなどの少数精鋭組織。 →チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト（事務局：NPO法人ETIC.）が認定する地域コーディネーターがコーディネートする案件です。Webに全て掲載しています。
参加費	無料（自宅↔現地までの往復交通費は学生負担） ※現地での住居は現地で用意、生活費・食費は受入企業から活動支援金、現物支給あり。
参加までの流れ	①インターンシップフェア（毎年6月・12月上旬）または個別相談会に参加（東京で開催） ②ETIC.事務局コーディネーター（対面）→現地コーディネーター（スカイプ）と相談しエントリー先の決定 ③エントリー書類・事前課題の準備 ④受け入れ企業の経営者との選考面接（スカイプ） ⑤東京での事前研修後、出発、現地へ！
カリキュラムやサポート体制	・開始前後：合同事前研修・事後研修@東京 ・期間中：キックオフ研修・中間研修・報告会@各地 ・参加検討段階から専属の現地コーディネーターが1名ずつ付きます。 ・受け入れ先では、新たなことを地域で仕掛ける経営者、プロジェクトリーダーが育成担当として伴走します。 ・毎日、日報を書き、受け入れ先、現地コーディネーターからフィードバックがあります。

- 実績：※2011年～2017年の13期分の実績
- 実施地域数 106地域（32道府県）
- 申込者数 1,455名
- 参加学生数 654名（1,2年生が60%以上）
- 受け入れ企業数 295社
- UIJターンの割合 約5-10%（地域差あり）
- 参加学年 夏休みは1-3年生、春休みは1-2年生
- 男女比は女子が多め、地方出身者関東圏在住は半数。



検索 地域ベンチャー留学

<https://cvr.etic.or.jp/>
<https://www.facebook.com/go.to.cvr>

主催：NPO法人ETIC.
協力：チャレンジコミュニティプロジェクト

①質の高い受入れ企業とプログラム

- コーディネーター養成講座を受講済みの全国30地域以上のコーディネーター陣
- 年間約120社の豊富な選択肢（62%が30名未満の少数精鋭組織、経営者）
- 1ヶ月の実践型インターンに相応しい企業の発掘、プロジェクトづくり、伴走支援

②学生のやる気を高めるプロセス

- ETIC.事務局＆現地コーディネーター＆受入れ企業との面接を通じた腹ぐくり
- 地域企業経営者、現地コーディネーターとのマッチングイベント、受け入れ企業ごとの事前課題の設定
- 不採用になっても諦めなければリベンジ機会あり。知識経験問わず合格する。

③大学との簡易な接続システム

- 単位認定に係る契約書、覚書、誓約書、評価シートなども対応可能
- 受入れ企業が確保しにくい1か月程度の実践的なプログラムの機会
- 大学での授業告知、説明会の開催、学生との相談（オンライン含む）、全て実施

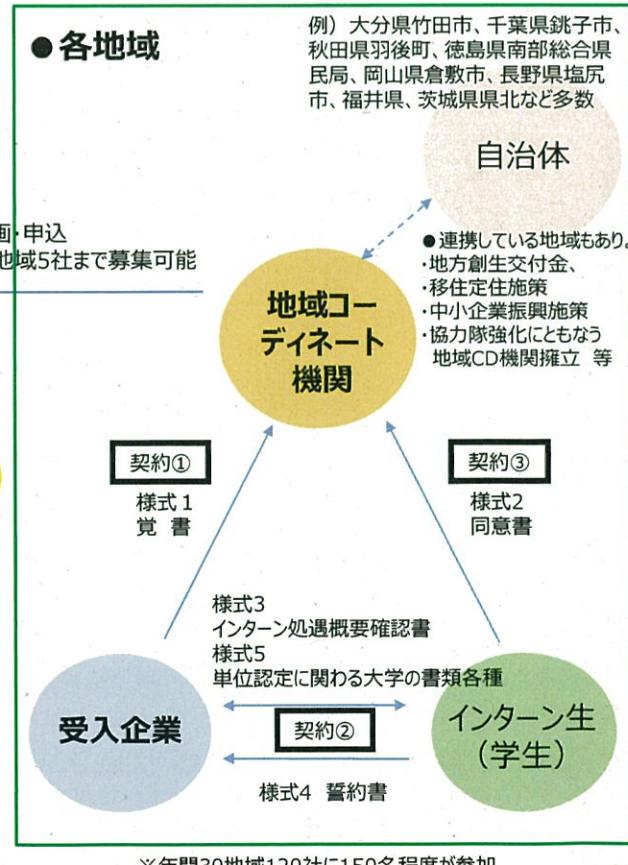
●地域ベンチャー留学の関係性

© 2018 ETIC. All rights reserved.

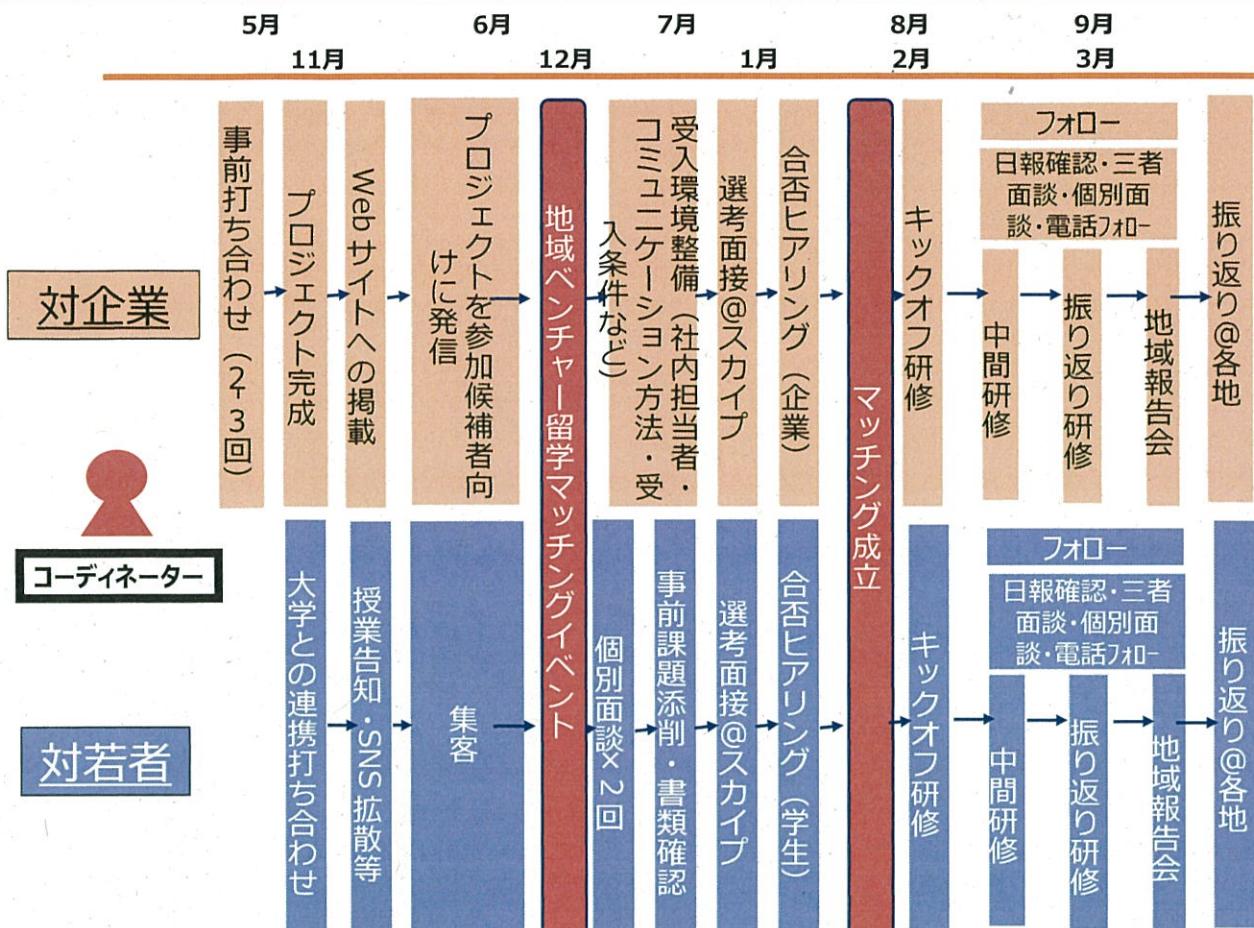
●都市部



●各地域



※年間30地域120社に150名程度が参加



地域ベンチャー留学「インターンシップ・フェア」の概要

受入企業経営者とコーディネーター、全国の大学生200名が一堂に集結。経営者の生の声を聞き、地域を体感する。

- 日時：12月2日（日）13:00～18:00
 - 場所：永田町GRID
 - 参加人数：150名
 - 出展地域：12地域（地域コーディネーター：CD）
- ※受入れ企業約50社。受入れ企業経営者は当日出展は任意

●地域プレゼンA

- 宮城県北（石巻市・南三陸町）：一般社団法人フュッシャーマンジャパン、合同会社（一般社団法人ESCCA）
- 千葉県銚子市（銚子円卓会議・銚子市役所）
- 大分県竹田市（竹田市役所・農村回帰支援センター）
- 熊本県南小国町（一般社団法人ムジタス）
- 宮城県気仙沼市（一般社団法人まるオフィス）
- 岩手県（釜石・大槌・宮古等：NPO法人wiz、株式会社バリューシフト、株式会社パソナ東北創生、NPO法人みやっこベース）

●地域プレゼンB

- 熊本県五木村（株式会社日添）
- 長野県塩尻市（塩尻商工会議所・塩尻市役所）
- 福島県（一般社団法人Bridge for Fukushima）
- 宮城県南（丸森・山元・亘理：一般社団法人ワカツク、一般社団法人ふらっどーほく）
- 秋田県羽後町（羽後町地域おこし協力隊）
- 三重県（一般社団法人わくわくスイッチ）

●出展条件：

- チャレンジコミュニティプロジェクトの会員及び特別研究員（出展料27万円+新規地域のサポート）
- 上記以外の新規地域：地域コーディネーター養成講座を受講しながら実践として地域ベンチャー留学をコーディネート

●集客方法、ツールなど：

- 「徹底的に集める」「動機付け→方向づけ→意思決定」
- SNS投稿（facebook・twitter・インスタ投稿および広告）
- 大学での説明会、授業告知→実践的カリキュラムに関心がある先生およびインターンシップ担当で実践型・4週間程度のインターンに関心がある先生（30か所以上で説明、100大学以上にチラシ送付）
- 各大学へのチラシ配布・掲示、立て看板
- 各種メーリングリストへの投稿

●倍率やエントリー数など：

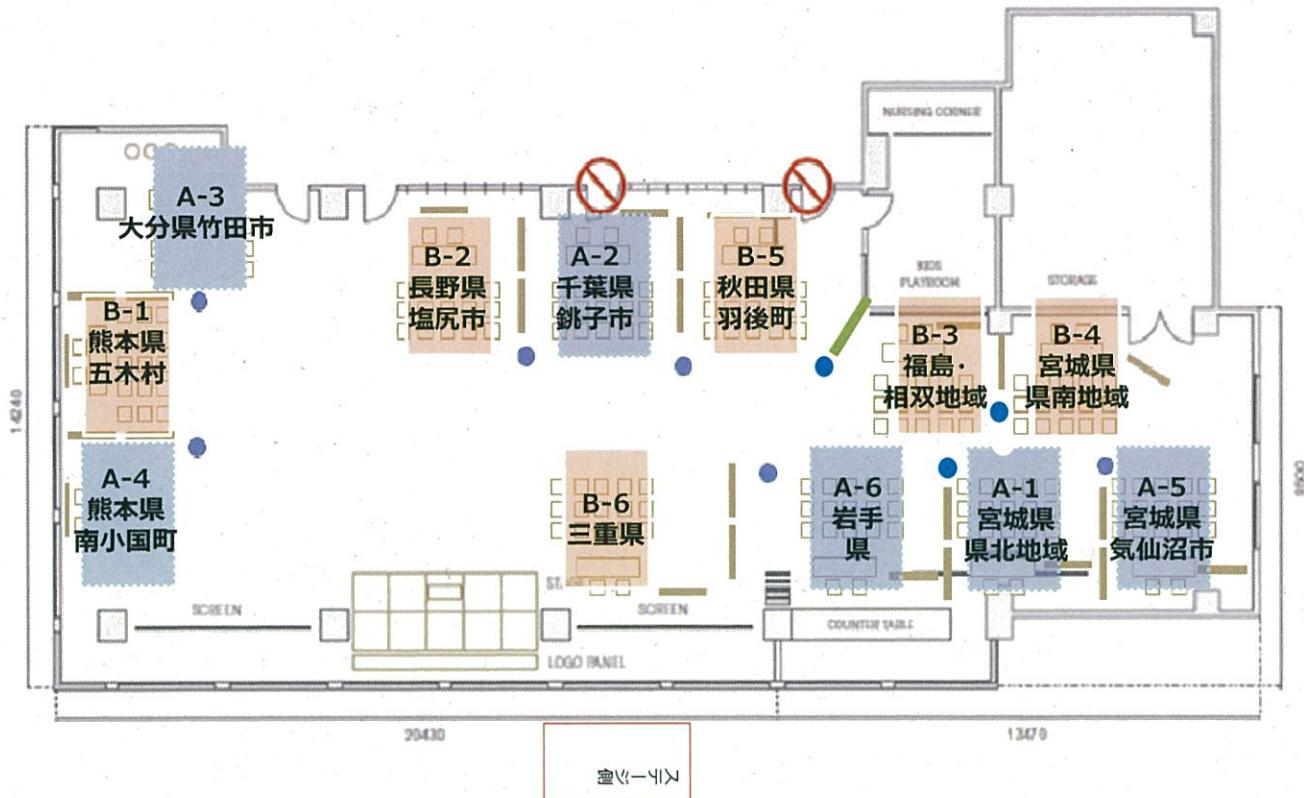
- イベント参加150名+12-1月オンライン説明会60名程度 = 210名
 →エントリー（地域側に引き渡す学生数）100名
 →企業選考面接：70名
 →来春、地域に行く学生60名程度

13:10-14:00 オープニングトークセッション (受け入れ企業、過去経験学生による)	地域プレゼンA (12地域×2分)
14:00-14:30 地域プレゼンA (12地域×2分)	ブース交流A (20分×3回転) *全ブース解放
14:30-15:30 ブース交流A (20分×3回転) *全ブース解放	休憩、移動
15:30-15:40 休憩、移動	地域プレゼンB (12地域×1分)
15:40-15:55 地域プレゼンB (12地域×1分)	ブース交流B (20分×3回転) *全ブース解放
15:55-16:55 ブース交流B (20分×3回転) *全ブース解放	今後の流れの説明、クロージング
16:55-17:20 今後の流れの説明、クロージング	17:20-18:00 エントリー説明会予約受付、自由交流

今回、受入地域となっている地域の紹介します。この時間で、自分が興味がある地域や企業を探してみてください。今まであまり馴染みがなかった地域でも、今回が良いご縁となるよう、積極的に情報収集をしてみてくださいね。

地域プレゼンテーションで気になった地域や企業について、より深くお話を聞くことができる時間です。インターンのプロジェクトはどんなことを行うのか、経営者はどんな人なのか等、詳細に聞き、ぜひこの時間でインターンしたい企業／地域を見つけてください！

●マッチングイベント会場図（12地域）



●マッチングイベントの流れ

© 2017 ETIC. All rights reserved.





出展団体によるプレゼンテーション

プレゼンを聞き、参加者が周りたいブースを選びます



●ブース交流①（20分×3回）



●プレゼンテーション2回目（1分間）



●ブース交流②（20分×3回）



都市部の若者を地域の中小企業で受け入れ、企業の経営革新を起こすためのコーディネート手法を座学+実践で学ぶ短期集中型講座です。

地域コーディネーター養成講座

(日程は学生コーディネートコースの場合)

【問い合わせ】

NPO法人ETIC.（エティック） 担当：瀬沼・渡辺
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMIビル4階
TEL : 03-5784-2115
メール : challenge-community@etic.or.jp

座学編

実践編

3月下旬～4月上旬
(9月下旬)

4月下旬～5月
(10月)

6月中旬
(12月上旬)

9月～10月下旬
(3月下旬～4月上旬)

①導入研修

企業の選定

②プロジェクト設計研修

プロジェクト設計

③マッチング対策研修

他地域の視察※任意

④振り返り研修

若者受入れ&サポート

地域コーディネーター機能の確立へ

振り返り

導入研修後、実際に自分の地域で受け入れ先となる企業を選定します。
個別に訪問または地域で説明会等の開催もサポートします。

企業ごとに受け入れプロジェクトを設計し、Webフォーマットに募集要項を入力、若者向けに発信準備。

すでに地域コーディネート機能を持つ先進地域に訪問し、実際にどのようなコーディネートを実施しているのか視察を行います。一度、自地域で実施した後の視察も効果的です。

ETIC.が主催するマッチングイベントに出展。若者を実地域で受け入れる宣伝をします。
期間中は、各地で若者・受け入れ企業向けの合同研修を、ETIC.および先進地域からのフォローアップを受けながら実施。

コーディネート活動を振り返り翌年以降の活動につなげていきます。

■座学編注意事項

※①を除き、受け入れ企業（候補）の経営者と参加することを強く推奨しています。
※①～④、すべて東京開催。交通費は各自負担です。
※①～④を現地開催希望の場合はオプションにて別途ご相談させてください。

■実践編では以下の実施を「サポート」します

- ・受け入れ企業開拓
- ・受け入れ企業向けプロジェクト設計（2-3社程度）
- ・マッチングイベント出展・マッチング作業（★右側参照）
- ・4週間～半年程度のインターン受け入れサポート
- ・企業、若者向けに合同キックオフ研修、中間研修、修了研修

★マッチング作業

- ・1社につき1-2名程度のマッチング。但し、4週間以上の期間が長い場合はマッチングの難易度が高まります。
- ・選考は受け入れ企業が実施。落とす権利は企業にあります。
- ・4週間の学生インターンの場合、合格者は1社あたり1-2名程度、未マッチングは年間100社のうち2-3社程度

養成講座のポイント

①「座学→実践」の反復

養成講座では、受講生の皆さんに1か月の実践型インターンシップ「地域ベンチャー留学」（2-3月or8-9月）を実際に自地域でコーディネートをして頂きます。「コーディネート」の要諦を座学で学び、それを使ってみてコーディネーターに必要な考え方とスキルを短時間で習得します。

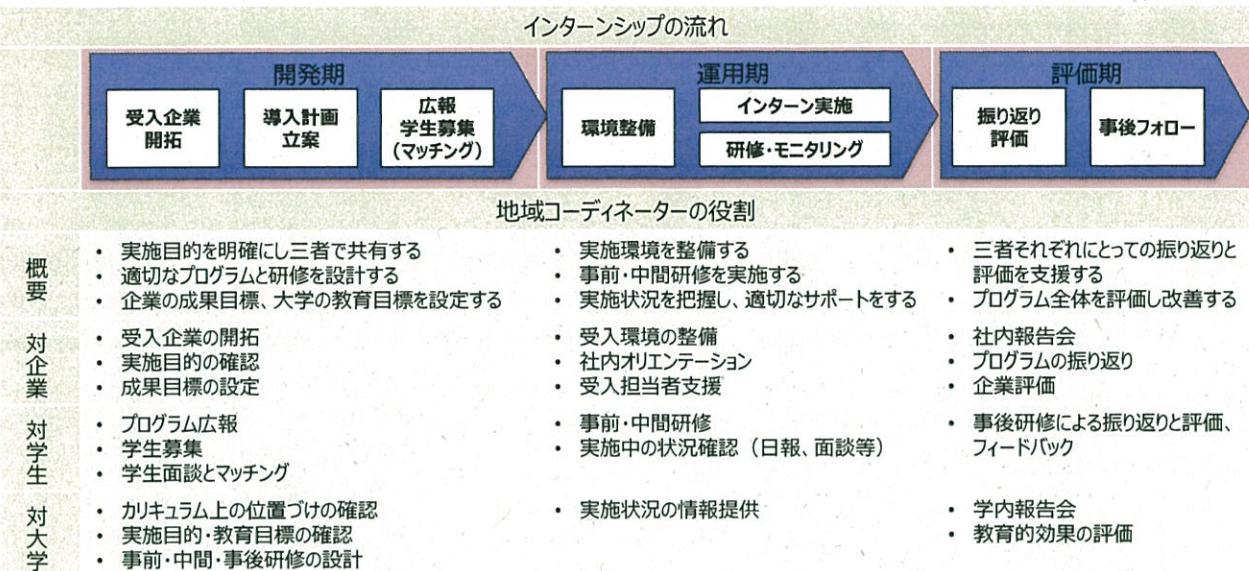
②地域コーディネーター候補の発掘・採用

地域コーディネーター候補が自地域にいない場合は、候補者の発掘・採用のサポートも行います。まずは地域内の関係者を集め、地域コーディネーターの他地域の事例や役割、機能に関する研究会の開催や、候補者の発掘や採用に活用できる制度等の説明も行います。

③自治体の現状に合わせたコンセプト作り

地域内の中小企業振興や採用支援、地域外からの移住UIJターン施策、協力隊強化に伴う地域コーディネート機能の設置や強化、大学や大学生を巻き込んだ地域づくりなど、地方創生交付金の活用も含め実情に合わせた対応が可能です。

中間支援組織（地域コーディネーター、地域コーディネート機関）の役割は、インターンシップに関する企業、学生、大学の三者のニーズをりあわせ、インターンシップを実施するための関係性を構築し、インターンシッププログラムを開発・運用・評価すること。そのために、企業、学生、大学のそれぞれに対する複合的なコーディネート能力が必要とされる。



これらの役割を果たすために、中間支援組織（地域コーディネーター、地域コーディネート機関）には複合的なコーディネート能力が必要とされる。ただし、すべての役割を一人で負う必要はなく、プログラムの全体設計の中で役割分担をすることも考えられる。

参考：全国に広がる地域プロデューサー（地域コーディネート機関）

© 2018 ETIC. All rights reserved.

地域で挑戦の機会を創出し、新しい経済・仕事を生み出すプレイヤーを応援。 挑戦の生態系を支える地域コーディネート機能の発掘と育成。

太字：2017年度チャレンジユニティプロジェクト会員・準会員団体
細字：その他事業での連携コーディネート機関
下線：ローカルベンチャー推進協議会参画自治体（ローカル事務局11団体）

- | | |
|---|--|
| 01 北海道・札幌市 NPO法人北海道エンブリッジ | 35 岐阜県・岐阜市 NPO法人G-net |
| 02 北海道・浦幌町 株式会社ノースブロウクション | 36 岐阜県・高山市 ひだインター留学実行委員会 (NPO法人まちづくりスポット/飛騨信用組合) |
| 03 北海道・下川町 NPO法人森の生活/下川町産業活性化支援機構 | 37 三重県・四日市市 一般社団法人わくわくスイッチ |
| 04 北海道・厚真町 厚真町役場 (LV:エーゼロ株式会社) | 38 三重県・尾鷲市 尾鷲商工会議所 |
| 05 青森県・青森市 NPO法人プラットフォームあおもり | 39 三重県・尾鷲市 株式会社熊野古道おわせ |
| 06 岩手県・盛岡市/大船渡市 NPO法人wiz | 40 大阪府・大阪市 NPO法人JAE |
| 07 岩手県・釜石市 釜石デジタルエージェンシー推進委員会/株式会社パリケ東北創生 | 41 奈良県・奈良市 NPO法人ならゆうし |
| 08 秋田県・秋田市 株式会社あきた総研 | 42 兵庫県・神戸市 NPO法人生涯学習サポート兵庫 |
| 09 秋田県・羽後町 羽後町役場・地域おこし協力隊 | 43 兵庫県・尼崎市 一般社団法人あまひとみがき・プラットフォーム |
| 10 山形県・鶴岡市 合同会社 work life shift | 44 岡山県・岡山市 NPOエリアノベーション |
| 11 山形県・川西町 NPO法人きらりよしまネットワーク | 45 岡山県・西粟倉村 エーゼロ株式会社 |
| 12 宮城県・仙台市 一般社団法人ワカツク | 46 鳥取県・鳥取市 NPO法人学生人材バンク |
| 13 宮城県・石巻市 コンソーシアムハグク(一般社団法人ISHINOMAKI2.0、合同会社巻組・一般社団法人イトナフ・一般社団法人石巻観光協会) | 47 島根県・松江市 株式会社シーズ総合政策研究所 |
| 14 宮城県・気仙沼市 一般社団法人まるオフィス/気仙沼まち大学運営協議会 | 48 島根県・雲南市 NPO法人おっちゃん |
| 15 宮城県・女川町 NPO法人アスヘノキボウ | 49 広島県・広島市 一般社団法人EACH |
| 16 宮城県・南三陸町 株式会社ESCCA・NPO法人底上げ | 50 山口県・周防大島町 株式会社ジブンノオト |
| 17 福島県・県北・相双地区 一般社団法人Bridge For Fukushima | 51 徳島県・徳島市 徳島大学 (COC+推進コーディネーター) |
| 18 福島県・いわき市 NPO法人TATAKIGE Japan | 52 徳島県・南半部1市4町 「四国の右下」若者創生協議会 (徳島県庁南部総合県民局) |
| 19 新潟県・長岡市 (公)中越防災安全推進機構 | 53 徳島県・上勝町 株式会社いろどり |
| 20 富山県・富山市 AtionOne合同会社 | 54 徳島県・三好市 一般社団法人ともる (地域おこし協力隊) |
| 21 石川県・七尾市 株式会社御祓川 (LV:七尾街づくりセンター株式会社) | 55 愛媛県・松山市 NPO法人Eyes |
| 22 石川県・金沢市 株式会社ガクトラボ | 56 高知県・高知市 高知大学 |
| 23 福井県・福井市 株式会社LinkMaker | 57 高知県・四十万町 一般社団法人いなかパイプ |
| 24 長野県・塩尻市 塩尻市役所・塩尻商工会議所 | 58 福岡県・福岡市 株式会社YOUTURN |
| 25 茨城県・県北地域 茨城県（茨城県北地域おこし協力隊）・株式会社えぼっく | 59 福岡県・飯塚市 株式会社ハウインターナショナル |
| 26 栃木県・宇都宮市 NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク | 60 熊本県・熊本市 一般社団法人フミダス |
| 27 埼玉県・ときがわ町 株式会社温泉道場 | 61 熊本県・南小国町 南小国町ローカルベンチャー推進協議会 |
| 28 千葉県・鋸南町 株式会社R.project | 62 熊本県・球磨郡五木村 株式会社日添 |
| 29 東京都・渋谷区 NPO法人ETIC. | 63 大分県・竹田市 竹田市役所・定住支援員 |
| 30 神奈川・横浜市 NPO法人ETIC.横浜プランチ | 64 宮崎県・日南市 創客創人センター・日南市役所 |
| 31 千葉県・銚子市 銚子市役所・銚子円卓会議 | 65 鹿児島・鹿児島市 株式会社マチトビラ |
| 32 静岡県・熱海市 NPO法人atamista | 66 沖縄県・浦添市 株式会社ルーツ |
| 33 愛知県・名古屋市 NPO法人アスクネット | 67 沖縄県・那覇市 一般社団法人しまのわ |
| 34 愛知県・岡崎市 NPO法人コラボキャンバス三河 | |